

47-2

美倉橋

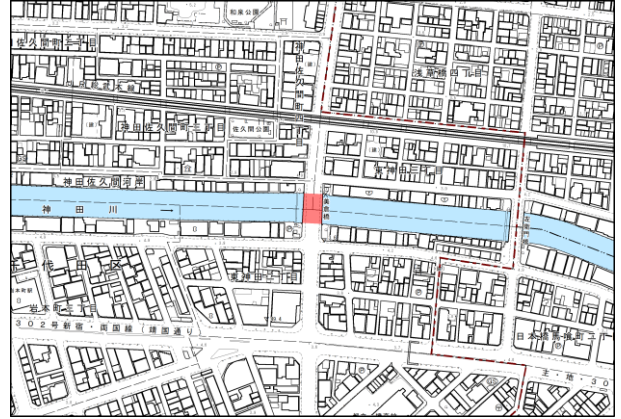
指定日 2007(平成 19)年 3 月 28 日

所在地 東神田二丁目 3,8 番先～神田佐久間河
岸 92 番地,東神田三丁目 1 番先
(神田川)

設計者 -

竣工 1929 (昭和 4) 年

文化財等
指定状況 -



▲美倉橋全景

歴史・文化的特徴

橋の近くに3棟の蔵があったことから、この名前がつけられたという説がありますが、詳しいことはわかりません。橋詰には、この伝承に由来する蔵造り風の公衆トイレが建てられています。

震災復興橋梁のひとつです。



◀橋詰に位置する蔵造り風の公衆トイレ

意匠・構造の特徴

簡素ですが力強いデザインの鋼製アーチ橋です。

石造風の親柱などが特徴的なデザインで、橋桁の色は緑色です。

千代田区景観まちづくり重要物件 47-1 の和泉橋と同じデザインです。

周辺景観との関係

歩行者の視点からは、石造風の親柱が目に入ります。

橋上は神田川を見通す眺望点にもなっています。

神田川沿いに道路がなく、橋梁の全景は見えづらいですが、水面からは印象的なアーチや鋼製の構造をよく見て取ることができます。

水管橋が併設されており、橋への視界を遮っています。



◀美倉橋の親柱